

おわりに

地域に開かれた大学の研究の拠点をめざして、本学の生涯学習研究所は設立されて3年目を経過しました。地域の生涯学習の推進のために、「聖徳大学生涯学習フォーラム」の実施や「課題別研究会」など、ささやかではありますが研究・実践に努めて参りました。

本学の有する学習資源を広く学内外に活用することも研究課題としている生涯学習研究所ですが、さらに研究機能の充実が課題とされています。

そこで、研究所としての研究機能の拡充のために、研究紀要を作成することになりました。なによりもスタートのおくれはありましたが、学内の教職員の皆様のご協力から、このたび発行のはこびとなりました。多くの教職員の皆様のご協力があり、今後の投稿まで研究を続ける旨の連絡を多数いただきました。

生涯学習の領域は広く、これまで、どちらかと言えば、社会教育の分野をイメージした人が多かったのではないのでしょうか。しかし、国の答申にも指摘がありますが、学校教育の分野や、各人の趣味やボランティア、あるいは芸術・文化、体育レクリエーションなども含まれるのは当然で、ほかに、まちづくり、地域振興、福祉、国際理解の活動など、きわめて多様な分野にわたっています。そのため生涯学習にかかる研究は体系化が困難であるという指摘もあります。それだけに今後、より多くの分野の研究成果もこの紀要に発表できるのではないかと考えています。研究によっては、その一部しか収録されなかったものもありますが、これからさらに研究成果を発表されますようお願いいたします。そして質量共により高まる紀要となりますよう、努めたいと思います。

生涯学習研究所長 福留 強